

# ワイルドカードセミナー

2013 年 11 月 12 日

みんなのワードマクロ 新田順也

## ワイルドカードの置換でできること

### (表現の変更)

第 1 章 ⇨ セクション 1  
第 2 章 ⇨ セクション 2  
第 3 章 ⇨ セクション 3

### (書式の変更)

第 1 章 → はじめに  
第 2 章 → Word マクロとは  
第 3 章 → 「2 秒 × 1 0 0 0 回 = 3 0 分」とは

⇨

第 1 章  
☐ はじめに  
第 2 章  
☐ Word マクロとは  
第 3 章  
☐ 「2 秒 × 1 0 0 0 回 = 3 0 分」とは

### (誤記修正)

This is a pen. . . . That is a pencil.

⇨ This is a pen. . . . That is a pencil.

### (翻訳)

第 1 条 ⇨ Article 1  
第 2 条 ⇨ Article 2  
第 3 条 ⇨ Article 3

The solution was heated to 5°C. この溶液を 5°C まで加熱した。  
The solution was heated to 20°C. ⇨ この溶液を 20°C まで加熱した。  
The solution was heated to 55°C. この溶液を 55°C まで加熱した。

## ワイルドカード検索

### (1) ワイルドカード検索とは？

文字列の検索に、具体的な文字列ではなく、**文字並びのパターン**※を指定して検索すること。

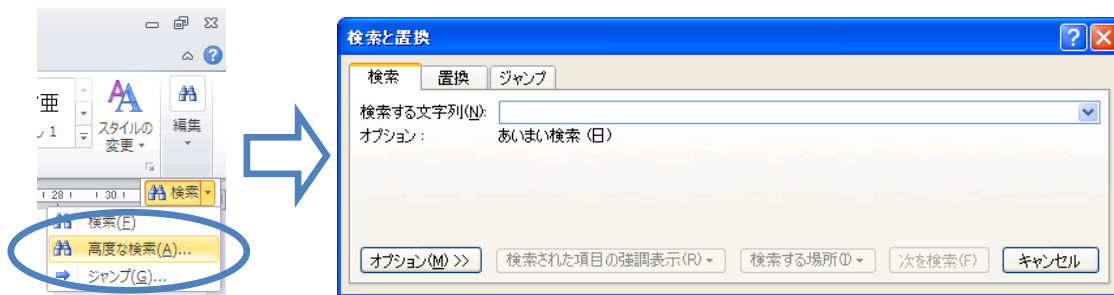
※：文字並びのパターン例

[0-9]、[a-zA-Z] など。

### (2) 検索ダイアログの開き方

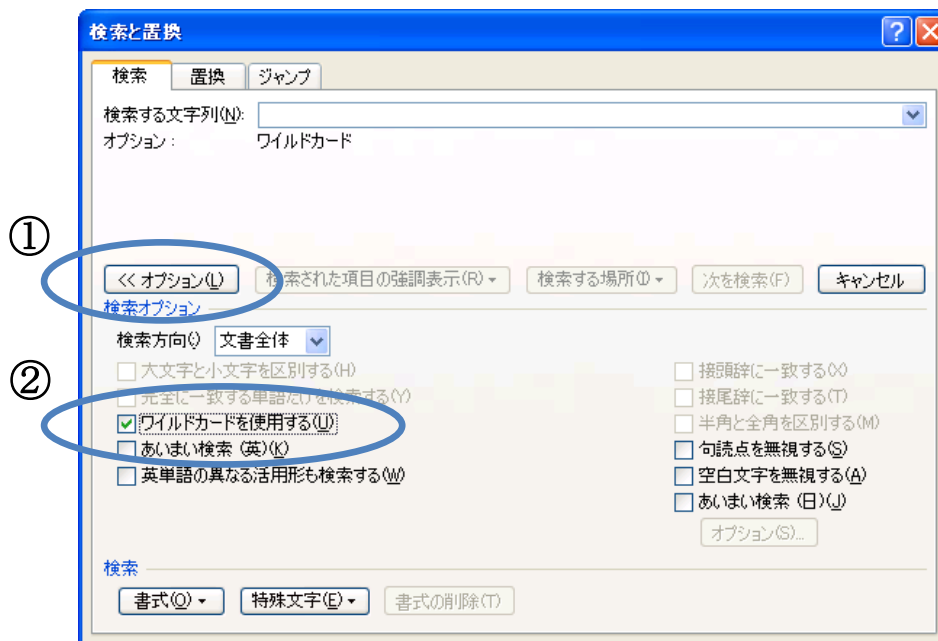
Word 2000 - 2007 の場合 [Ctrl] + [F]

Word 2010/2013 の場合は、以下のように操作



(デフォルトでは、[Ctrl] + [F] はナビゲーションでの検索に対応しています。)

### (3) ワイルドカード検索の設定



#### (4) ワイルドカードを使用する場合の検索条件について

大文字と小文字が区別されます

半角と全角が区別されます

<< オプション(L)

検索された項目の強調表示(R) ▼

検索する場所(I) ▼

次を検索(E)

キャンセル

検索オプション

検索方向(J) 文書全体 ▼

☒ 大文字と小文字を区別する(H)

☐ 完全に一致する単語だけを検索する(Y)

☒ ワイルドカードを使用する(U)

☐ あいまい検索 (英)(K)

☐ 英単語の異なる活用形も検索する(W)

☐ 接頭辞に一致する(X)

☐ 接尾辞に一致する(T)

☒ 半角と全角を区別する(M)

☐ 句読点を無視する(S)

☐ 空白文字を無視する(A)

☐ あいまい検索 (日)(J)

オプション(S)...

#### (4) 主要な文字並びパターンの意味

ワイルドカードでは、[、]、{、}、¥、^、!、?、\*、<、>が特定の意味をもちます。

これらを組み合わせることで、パターンを作ります。

検索パターン	意味	例
<b>[文字]</b>	括弧内の任意の <b>1文字</b>	[ABC] : 半角の A か B か C
<b>[最初の文字-最後の文字]</b>	「最初」から「最後」の範囲内の <b>1文字</b> <b>範囲を指定します!</b>	[0-9] : 半角数字 (0~9) の 1文字 [A-Z] : 大文字アルファベット 1文字
<b>{最小値, 最大値}</b>	直前の文字パターンの繰り返しの数	[0-9]{4,4} : 半角数字を 4 回繰り返す (→[0-9][0-9][0-9][0-9]と同じ) [0-9]{4,} : 半角数字を 4~255 回繰り返す [0-9]{4} : 半角数字を 4 回繰り返す [0-9]{4,6} : 半角数字を 4~6 回繰り返す
<b>[!文字]</b>	指定した「文字」以外の 1文字	[!a-zA-Z] : 半角アルファベットではない 1文字
<b>¥記号</b>	ワイルドカード検索で用いられる特殊文字※自体を検索する  ※: [, ], {, }, ¥, ^, !, ?, *, <, >の記号のこと	¥[ : [ の記号を検索  ¥{ : { の記号を検索
<b>*</b>	任意の <b>0文字以上</b> の文字列	第1章*第2章 第1章と第2章との文字列に挟まれた文字列が検索されます。
<b>?</b>	任意の 1文字	

「ワイルドカードを使用する」にチェックマークが入っている場合には、「特殊文字」ボタンをクリックすれば、入力可能な項目が表示されます。



## （５）すぐに使える文字並びパターン

よく使うパターンを準備しておいて、使うたびにコピーすれば便利。

辞書登録をしてもいいかも。

検索する文字列パターン	意味
[0-9 0-9]{1,}	全角・半角の 1 桁以上の数字の検索
[a-zA-Z a-z A-Z]{1,}	半角・全角の英単語の検索
[a-zA-Z0-9]{1,}	半角英数字
[ぁ-ん]{1,}	全角ひらがな
[㇀-ㇿ]{1,}	半角カタカナ
[ァ-ヴェ]{1,}	全角カタカナ
[ -- ]	半角スペースと半角英数記号（「基本ラテン」に限定）
[! -- ]	（半角スペースと半角英数記号）以外
[一-鶴]	漢字（Windows XP、Office 2003）※
[𐀀-頻]	漢字（Windows Vista、Office 2007）※
[!一-鶴]	漢字以外（Windows XP、Office 2003）※
[!𐀀-頻]	漢字以外（Windows Vista、Office 2007）※
^14 （または、^n）	段区切り
^13	改行マーク （ハードリターン） 「置換後の文字列」に改行マークを記載する場合は ^p です。
^12 （または、^m）	ページ・セクション区切り
^11 （または、^l：エルです）	改行マーク （ソフトリターン）
^9 （または、^t）	タブ記号
¥[0-9]{4}¥	[0001]形式の段落番号を検索

※

Windows や Office の新しいバージョンでは、日本語の旧字体や中国語、韓国語などの漢字を広範囲に表示できるようになっています。そのため、上記で、漢字の範囲指定が Windows や Office のバージョンにより異なりますが、古いバージョンの表記にしておけば問題ありません。

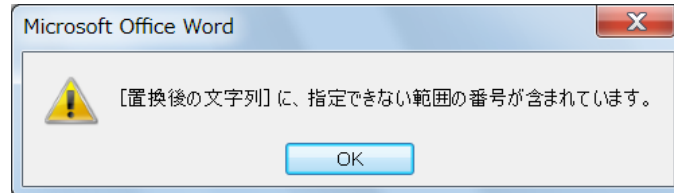
新田は、漢字での指定は、古いバージョンに対応した表記にしています。ただ、「漢字だけを探す」という操作自体をしないのであまり使っていません。漢字、ひらがな、カタカナなどの全角文字を探すことがありますので、その場合には、「半角の英数字記号以外」という指定で検索しています。つまり、上記の[! --]を使っています。ただ、これは数学記号やギリシャ文字などが含まれています。使いながら自分に必要なものを探していけばいいと思います。

完璧を求めずに、できる範囲で活用すればいいのかなと思っています。

## ワイルドカードの置換と検索の基本ルール

「検索する文字列」の欄と「置換後の文字列」の欄のセットで用います。

「置換後の文字列」に¥n(例えば、¥1、¥2、¥3 など)を記載しているのに、「検索する文字列」に¥nに対応する文字列グループ(半角括弧で囲まれた文字列)が記載されない場合、以下のメッセージが表示されます。



	記号	意味
検索する文字列	() : 半角括弧	括弧内の文字列を <u>文字列グループ</u> として扱います。
置換後の文字列	¥n : 半角円マークの後に <b>半角数字</b>	<p>「検索する文字列」の括弧内の<u>文字列グループ</u>を「置換後の文字列」に反映します。</p> <p>円マークの後の<b>半角数字</b>は、<u>文字列グループ</u>の<b>識別番号</b>です。</p> <p>「検索する文字列」には、複数の<u>文字列グループ</u>を記載することができます。左から昇順で番号が割り当てられ、「置換後の文字列」の¥1、¥2、¥3、、に対応します。<u>文字列グループ</u>が1つの場合には、¥1と表記します。</p>

**2012**/02/20 を、02/20/**2012** のように、年号の位置を変更するように置換する場合

検索する文字列 : ([0-9]{4})/([0-9]{2})/([0-9]{2})

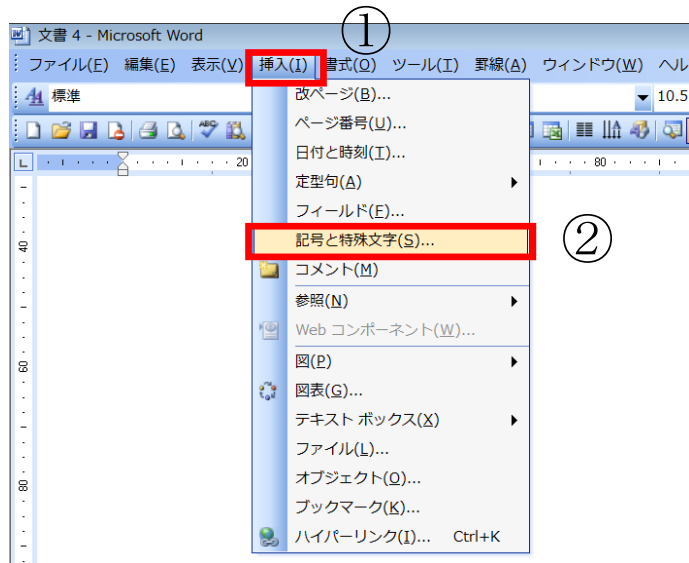
置換後の文字列 : ¥2/¥3/¥1



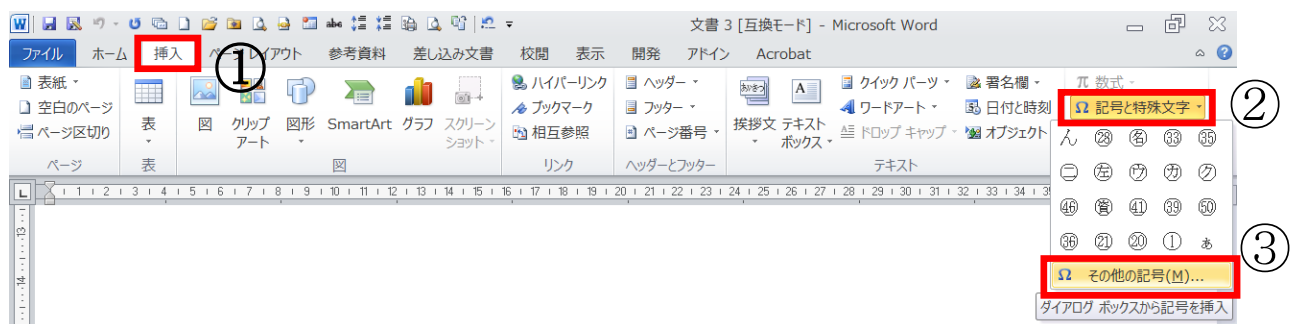
## 文字列の範囲の探し方

記号と特殊文字ダイアログボックスを開きます。

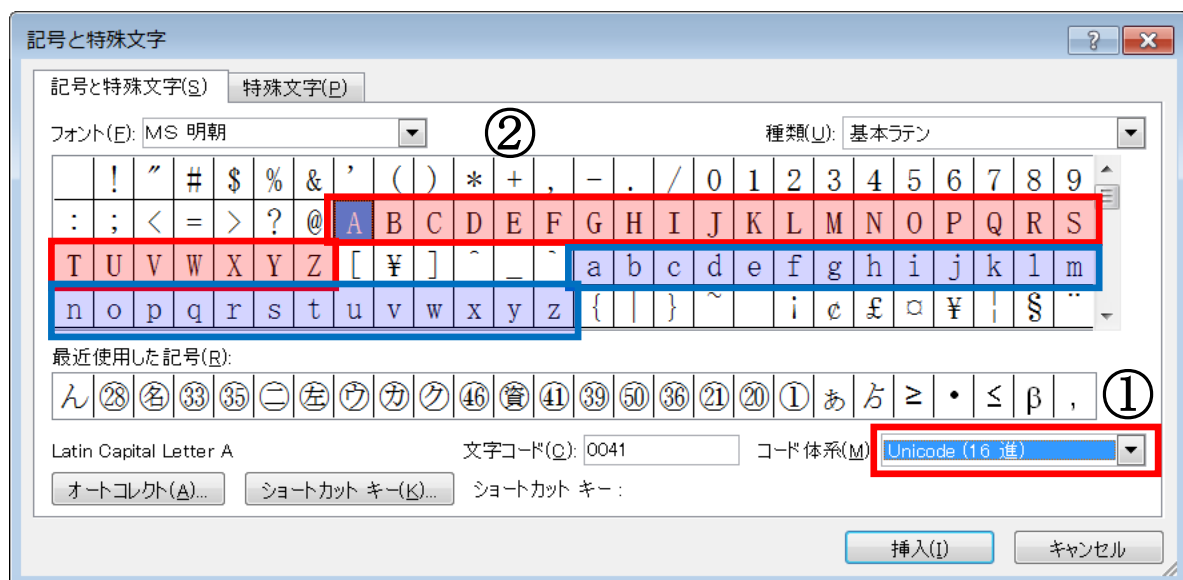
(1) Word 2000/2003



(2) Word 2007/2010/2013



コード体系を **Unicode (16 進数)** にして、連続する文字列の先頭と末尾を選択します。



全角英文字が[A-z]ではなくて、[A-Z a-z]となる理由がご理解いただけるでしょうか？



コツ
----

編集記号を表示させて (Shift + Ctrl + 8)、文書中で使われている文字列を見える化します。

半角スペースと、全角スペースとタブとをはっきり区別して処理をします。

1回で解決しようとしなくて、複数の検索式を用います。

ワイルドカードを用いた一括置換では、蛍光ペンを使って処理対象を確認できるようにします。

ワイルドカードで思い通りの結果が得られない場合には、半角と全角の誤記が原因であることが多いです。英数字だけでなく、[]や{}の括弧や、ハイフンも全角になっているかも！

## クイズ

さて、次は何をするのでしょうか。

注：半角スペースは、\_ で示し、全角スペースは、□で示しています。

### 【検索】

検索する文字列：. \_ [a-z]

半角スペース 2 つ

検索する文字列：[!.] \_

半角スペース 2 つ

### 【置換】

検索する文字列：^13 {1,}

置換後の文字列：^p

検索する文字列：\_ ([tT]) eh \_

置換後の文字列：\_ ¥1 he \_

検索する文字列：^13 第 ([0-9] {1,}) 章 □

置換後の文字列：^p セクション ¥1 ^p ^t

検索する文字列：. [ ] {3,}

半角スペース 2 つ

置換後の文字列：. \_

検索する文字列：([!.] ) \_

置換後の文字列：¥1 \_

半角スペース 2 つ

検索する文字列：The mixture ([A-Z]) was heated to ([0-9] {1,}) °C

置換後の文字列：この混合物 ¥1 を ¥2 °C まで加熱した。

▼Word マクロセミナーのお知らせ（2 回コース）

「Word を翻訳マシンにチューニングする」をコンセプトに、[Word マクロのプログラミングを学ぶセミナー](#)を開催しております。ゼロからプログラムを作るのではなく、完成品をどのように改造するのか？自分好みに作りかえるのか？を学びます。市販の Word 本に書かれていないおいしいヒント満載＋仲間作りに最適なセミナーです。ご興味のある方はご連絡ください。優先的にご案内いたします。

▼ブログ

・ [みんなのワードマクロ ブログ](#)

Word マクロに関する情報（マクロテンプレート、プログラムのコードと解説、書籍紹介、ウェブサイト紹介など）を公開しています。関連セミナーのご案内もいたしますので、お見逃しなく！

▼メルマガ

[【みんなのワードマクロ】メルマガ](#)

マクロテンプレートの更新情報、上記ブログの内容、セミナー情報を月に 1 回発信します。

▼各種アドインの紹介

[翻訳チェックソフト「色 de チェック」](#)

[一括置換翻訳の支援ソフト「ぱらぱら」](#)

[Word の置換機能を徹底強化する「山猫の手」](#)

[文書中の用語の使用頻度を調べる「頻度のヒント」](#)

[Word 文書中のフォント情報を調べる「ホントのフォント」](#)

[蛍光マーキングとコメントを挿入する「蛍光と対策」](#)

[Word から Google 検索 「右クリックで Google！」](#)

[エスパネットのリンク自動作成マクロ](#)

▼連絡先

新田順也 （nitta@n-i-t.jp）